

お知らせ

令和6年3月1日（金）
一般社団法人日本蕎麦協会

「令和5年度第35回全国そば優良生産表彰」 農林水産大臣賞ほか各賞受賞者の決定について

一般社団法人日本蕎麦協会主催の「令和5年度第35回全国そば優良生産表彰事業」による農林水産大臣賞ほか各賞を、下記のとおり決定いたしました。

なお、表彰式は、下記の通り開催いたします。

記

1 受賞者

別紙のとおり

2 表彰式

令和6年3月27日（水）
15：00～ 如水会館（東京都千代田区）

(参考) 全国そば優良生産表彰事業の概要

目 的：国産そばの生産を奨励し、消費者へ良質なそばを安定的に提供するため、低コスト・品質向上などの面で模範となる生産農家及び生産集団を表彰し、その成果を広く紹介・普及する（平成元年度から実施、今回で35回目）。

成 果：これまで、品質・生産性向上に努力した生産農家及び生産集団が受賞し、6次産業化、ブランド化の成功にもつながったほか、地域のそば振興のモデルとなっている。

農林水産大臣賞の受賞者の特色：収量が好成績であり、低コスト化を図ることで効率的な経営を行っている。作付体系についても他の範となる点が評価された。

主催：一般社団法人日本蕎麦協会

後援：農林水産省、全国農業協同組合中央会、日本農業新聞

協賛：一般社団法人日本麺類業団体連合会、全国蕎麦製粉協同組合、全国農業協同組合中央会、玄蕎麦流通協議会

お問い合わせ先

一般社団法人日本蕎麦協会

電 話 03-3264-3801

メー ル info @ nihon-soba-kyokai.or.jp

URL http://www.nihon-soba-kyokai.or.jp

(別紙)

令和5年度第35回全国そば優良生産表彰受賞者一覧

令和6年2月21日 審査委員会決定

表彰の種類	受賞者名	所在地
農林水産大臣賞	吹野 健司	茨城県笠間市
農林水産省農産局長賞	農事組合法人越前国中	福井県越前市
一般社団法人 全国農業協同組合中央会会長賞	山口 修司	茨城県阿見町
全国蕎麦製粉協同組合理事長賞	株式会社天下森振興公社	秋田県横手市
一般社団法人 日本蕎麦協会会長賞	太田enjoy農楽舎	福井県美浜町

農林水産大臣賞

氏名・集団名	ふきの 吹野 けんじ 司
所在地	茨城県笠間市
立地・生育条件	笠間市は茨城県の中央に位置、ほ場は市の北東部。概ね平坦な地形で土壌は黒ボク土。年平均気温13.8℃、年間降水量1,383mm。播種時期に降雨がなく適期播種ができた。
年産	令和5年産
品種・単収・品質	常陸秋そば（162kg/10a・1等）
そば作付面積	7.1ha 〈畑7.1ha〉
収穫量	11,543kg
労働時間	3.10時間/10a
生産費	14,071円/10a
機械化の現状	トラクター、プラウ、マニュアルレクター、サブソイラ、ローラー、シダー、汎用コンバイン、乾燥機、籾摺機、グレーダー
作付体系	そば・大豆～麦～そば・大豆
経営上の割合等	玄そば販売平均8,000円/45kg<対経営全体比：9%>
出荷状況	J A 常陸、そば店
技術上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○排水対策 <ul style="list-style-type: none"> ・作付け前にサブソイラを入れ、湿害を回避するとともに、根を張りやすくして生育を促進させている。 ○安定収量、安定品質への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・収穫後にプラウ耕を入れ、そば生育時に発生した雑草の種を埋没し、雑草の発生を抑制している。 ・収量を確保するために適期播種を心がけている。 ・作付け前に自家製のみみ殻堆肥を施用して、地力増進に努める。 ・品質をみながら適宜種子更新を行う。 ○コスト削減の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・播種作業を後期、播種、鎮圧まで一工程で行い、省力化を図っている。 ・無肥料で栽培し、肥料コストを削減している。
経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○輪作体系 <ul style="list-style-type: none"> ・15年程前に耕作放棄地解消のために、そばを導入した。その後基盤整備事業導入に伴い拡大させた麦、大豆の連作障害を改善するために、そばを入れた輪作体系を組み、そばの面積を倍以上に拡大してきた。 ○地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消のため、地元のそば屋にも出荷し、消費拡大を図っている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化を目指し、地元のそば店への出荷率を高め、販路拡大を図る。 ・適宜スマート農機の導入を図りながら、省力化による規模拡大を目指す。 ・高温や病害虫への対策について、普及センターと情報交換をしながら安定生産に努める。

農林水産省農産局長賞

氏名・集団名	農事組合法人越前国中 ^{えちぜんぐになか} （代表理事 見延 喜久治 ^{みのべ きくじ} ） 構成農家戸数=12戸
所在地	福井県越前市
立地・生育条件	越前市は福井県嶺北地方の南部に位置。ほ場はほとんどが30aであり効率的に作業ができる。年平均気温15.4℃、近年は温暖・集中的な大雨が多い。生育期間中に大雨があったものの、排水対策により影響は少なかった。
年産	令和4年産
品種・単収・品質	在来種（59kg/10a・1等）
そば作付面積	7.4ha 〈田7.4ha〉
収穫量	4,388kg
労働時間	5.07時間/10a
生産費	21,955円/10a
機械化の現状	モア、サブソイラー、ブロードキャスター、ローラー、施肥播種機、草刈機、汎用コンバイン
作付体系	水稻～大麦～そば（2年3作）、そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均9,945円/45kg<対経営全体比4%>
出荷状況	増田
技術上の工夫	<p>○排水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麦の明渠を手直しし、表面水の排水を行っている。 ・そばの栽培は、これまで湿害を受け、収量が非常に不安定であった。そこで、福井県農業試験場で開発された播種直後の湿害を軽減する技術である「小畦立て播種」をいち早く導入することで、湿害を軽減した。一方で、同技術は過乾燥にもなりやすいというデメリットもあることから、無降雨日が続きそうな年は、県丹南農林総合事務所と相談した上で、慣行播種も検討することとしている。 <p>○品質改善への努力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家採取をやめ、品質の安定したJAの種子を採用している。 ・環境に配慮し、鶏糞ペレットを活用した農薬不使用・化学合成肥料の不使用栽培を行っている。 ・福井県では、帰化アサガオ類の発生が一部確認されており、ソバ圃場に一度侵入すると大きな被害をもたらすため、当法人では、毎年夏に県丹南農林総合事務所と協力して、発生状況の現地確認を実施している。現在、帰化アサガオ類のソバ圃場への侵入はない。 ・虫害対策は予察でフェロモントラップを設置し、農薬を散布しない。 ・畦畔の草刈りを2回実施している。
経営上の特徴	<p>○作業効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団地化により品種を管理しやすい環境を作っている。 ・また、団地化により水の管理がしやすいため、周辺の農地とそばの排水管理もしやすくなっている。 ・従業員の専従化を図っていることによって技術力が高く、作業効率に優れている。またベテランと若手のマンツーマン指導によって技術の継承も行っている。 <p>○地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当組合で収穫されたそば粉を使用し、町内で三世代交流の場としてそば打ち体験や、そば打ち愛好家も招いて年越しそばを作るなどイベントを行った、そばを通じた集落の活性化や農業振興に努めている。 <p>○法人活動の継続及び発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県の経営相談所を活用し、中小企業診断士を招いて経営相談し、経営改善のアドバイスを受けている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的に経営を行っていくために、次世代の若手農業者を育成に励んでいる。 ・新たな雇用も視野にいれるとともに、必要に応じてスマート農業の導入も検討し、規模拡大を図る。 ・組合内で、課題や今後の組織の方向性を検討し、組合の共通の認識として協議していくことで、組織の経営発展に取り組んでいる。 ・近年の異常気象により様々な被害（猛暑等）に適用していくために、行政との連携を図り、新たな営農技術等の導入や品種転換を行っていき、品質や収量の向上を目指す。

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞

氏名・集団名	やまぐち しゅうじ 山 口 修 司
所在地	茨城県稲敷郡阿見町
立地・生育条件	阿見町は茨城県南部に位置し、霞ヶ浦の南側。概ね平坦な地形で火山灰土土壌。年平均気温16.7℃、年間降水量1,150mm。気温が高く日照量も多かったので登熟期間が長くなった。
年産	令和5年産
品種・単収・品質	常陸秋そば (99kg/10a・1等)
そば作付面積	10.2ha 〈田7.5ha・畑2.7ha〉
収穫量	10,125kg
労働時間	3.61時間/10a
生産費	43,289円/10a
機械化の現状	プラソイラー、播種同時施肥機、ロータリー、シーダー、汎用コンバイン、乾燥機、粗選機、籾摺機、グレーダー
作付体系	そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均13,500円/45kg<対経営全体比：42%>
出荷状況	J A水郷つくば

全国蕎麦製粉協同組合理事長賞

氏名・集団名	株式会社 ^{てんがもり} 天下森振興公社（代表取締役社長 ^{しらさわ すずむ} 白澤 進） 構成農家戸数=130戸
所在地	秋田県横手市
立地・生育条件	ほ場のある増田町狙半内地区は横手市の最南端・南東部に位置。四方を山で囲まれた典型的な中山間地区。年平均気温11.2℃、降水量1,737mm。夏そば：降雨、秋そば：干ばつの影響。
年産	令和5年産
品種・単収・品質	階上早生（30kg/10a・1等、2等）
そば作付面積	86.4ha 〈田83.4ha・畑3.0ha〉
収穫量	25,925kg
労働時間	8.42時間/10a
生産費	58,325円/10a
機械化の現状	動力噴霧器、トラクター、プロトキャスト、刈払機、バックホー、汎用コンバイン、乾燥機
作付体系	夏そば～秋そば～翌年休耕～秋そば
経営上の割合等	玄そば販売平均8,300円/45kg＜対経営全体比：41%＞
出荷状況	製粉会社、商社、そば店及びそば加工品販売

一般社団法人日本蕎麦協会会長賞

氏名・集団名	おおた 太田 e n j o y ^{のうがくしゃ} 農楽舎 (代表 ^{やまじ} 山路 ^{としひこ} 俊彦) 構成農家戸数=22戸
所在地	福井県三方郡美浜町
立地・生育条件	美浜町太田は福井県嶺南地方の東部に位置。比較的水はけの良い土壌の平坦部と粘土質の土壌である中山間地。年平均気温15.6℃、年間降水量1,821mm。近年は温暖化による日照りと台風等の大雨に悩まされている。
年産	令和5年産
品種・単収・品質	大野在来 (31kg/10a・1等)
そば作付面積	6.3ha 〈田6.3ha〉
収穫量	1,958kg
労働時間	11.62時間/10a
生産費	22,460円/10a
機械化の現状	トラクター、モア、ロータリー、動力散布機、トラクター、うね立機、草刈機、汎用コンバイン、乾燥機、糶摺機、石抜機、クレーナー
作付体系	そば～稲作～そば
経営上の割合等	玄そば販売平均6,600円/45k<対経営全体比44%>
出荷状況	J A福井県、加工品他